

薄根地区 「地域の明日を話し合い、みんなで未来を創る」

「薄根地区の未来を一緒に考えよう」と誘われ参加しました。会場に行ってみると予想を超える人が集まっているので、思わず「場違いのところに来てしまった」と引いてしまいましたが、グループごとの話し合いは、一人一人の発言の機会があり、人の意見も聞けて「薄根のことを考えている人がこんなにいっぱいいるんだ」と感心し、2時間があっという間に過ぎてしまいました。次回も参加して、身の回りに起きていることを話してみたいです。

1人1人を地域づくり



こんな規模の大きい話し合いを持ち、多くの人と意見交換できたことはすごいことだ

みんなの声を聞き、地域のつながり、明るい地域づくりを考えていきたい



▲うすねサミット

川田地区 「川田への想いを共有して未来を話し合う」



▲川田シンポジウム

30代から70代まで約30人の川田地区住民が集まり「明日の川田を考えるシンポジウム」と銘打った座談会を開催しています。同じ地区に住んではいるものの、決してご近所ではなく、世代も性別も違う皆さんが集い、初めは少しのよそよそしさを感じながらも、それぞれが持つ「川田への思い」ですぐに打ち解け、今は活発な意見交換ができ、これからの地域について考える場となっています。

若い世代に押し付けるわけにはいかない。今、これから先を考えよう

背伸びしても駄目、ありのままでも思いやりのある地域にしていきたい



各地区の話し合いで出たキーワード

みんなで地域のことを考えたい

地域にとって大切なものは何か...

話し合うことで学び・気づきがある

未来の子どもたちにつなぐ地域を

話し合いから 人と人をつなぎ 未来の地域をつくります



魅力ある地域 未来へつなぐ

地域づくりシンポジウム

3月20日(日)13:30～

(ところ テラス沼田1階多目的スペース)

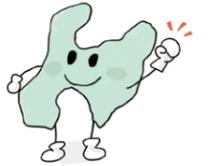
予告

今回紹介した地域づくりモデル地区の経過報告会を開催予定
【詳細は、広報ぬまた3月号でご案内します】



問合せ 市民協働課協働推進係 ☎内線3051、3052

誰もが安心して暮らせる地域へ 地域づくりモデル地区の活動紹介



地域づくりモデル地区(利南、池田、薄根、川田地区)では、住民が参加し「地域の課題は?」「地域で守りたいもの、大切なものは?」「地域をこうしていきたい!」などの話し合いを続けています。

地域づくりのサイクル



話し合いの様子を、参加者の感想などを交えて紹介します。



沼田市地域づくり支援アドバイザーの櫻井常矢さん(高崎経済大学教授)を迎え、意見交換をしています

利南地区 「みんなが地域に対して良くしたいという気持ち」

利南地区は東西に長く、小中学校が2校ずつあります。中学校が1校だった世代と2校になった後の世代で利南地区としての一体感に対する考え方に違いは感じましたが、基本的な考え(根っこの部分)は大きく変わらないと思えました。お互いの考え方や違いを理解し、話し合いを通じて十人十色の意見を聞くことができ、楽しく話し合えました。そして理想を共有していくと、みんなが地域に対して「良くしたい」という気持ちを持っているのだと感じ、うれしくなりました。多くの世代と一緒に意見交換する場、交流する場はとても大切だと感じています。

自然が豊かで、気温も温暖、改めて利南は住みやすい地域だと思えた

もっと近所の人と関わりを持ち、利南としての交流が必要かもしれないと考えさせられた



▲となみサミット

池田地区 「誰もが安心して住めるまちづくりを目指して」



▲池田ミニ座談会

池田地区は山と川に囲まれ、サクランボやブドウ、リンゴなどの果樹が豊富で、自然環境に恵まれた住環境にありながらも、役員の担い手不足、ひとり暮らし高齢者の増加、コミュニティーの希薄化などの課題があります。これからの暮らしを守り、地域コミュニティーを維持していくためにどうするか、今までの取り組みで足りなかったもの、次世代に残したいものなど、話し合いの中で気づきや学びがありました。さまざまな課題を自分事として捉え「誰もが安心して住めるまちづくり」を目指して取り組んでいきたいと思えます。

いろいろな人の話を聞いて、池田にはとても多くの宝物があることが分かった

形骸化している組織・事業のこれからを考える良いきっかけになった